

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2019年9月1日 192号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

## 21年目の日陽園



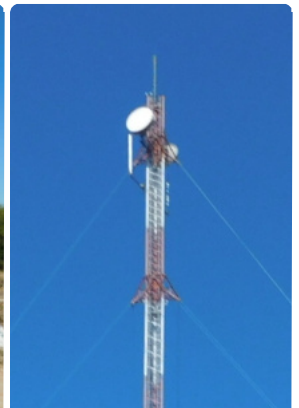
レダに到着したキム・サンソク師(中央青紫色)とソ・ジョンソン師(その右)を迎えるレダ基地スタッフ、従業員たち。7月27日



40日の研修会に備え、木製ベッドを大量生産中。



光ファイバーケーブルの電柱を立てる作業。



COPACOの通信アンテナ。

通信環境の面でも大きな一歩が踏み出されようとしています。携帯電話キャリア大手COPACO社(旧HANTELL)が、レダの中継所からセミナーハウスまで高速通信の可能な光ファイバーケーブルを敷設します。そして半径100mをカバーするCOPACOアンテナを二基設置するため、基地スタッフと共に準備を進めています。セミナーハウスでは、八月十五日から四十日間の特別研修会が予定され、スタッフはその受け入れ準備に奔走しています。参加予定者は、グアラニ族の村長、校長ほかの指導者を中心とする壮丁三十名。その先住民村でテント生活をしながら教育活動をしている中田実氏(現地法人理事長)によれば、村は緑に包まれた豊穡の地ですが、交通の便が極めて悪いため、現代文明の害悪に汚染されていない、純真な人々だそうです。新たな地平が見え始めた日陽園プロジェクトに、多くの皆様のご参加をお待ちしています。(八月十二日記)

二〇一九年八月一日、レダ基地を中心とする日陽園開発計画は、二十一年目に入りました。自然環境の保護、人類の食料問題の解決、平和地球村の実現を目指し、四百年の未来をも視野に入れた壮大なビジョンが、二十年前のこの日、パンタナールのホテル・アメリカーノにおいて、文鮮明師によって詳しく語られました。文師夫妻はこれに先立ち、アマゾンとパンタナール地域とを親しく探索されています。そしてモデル福地建設のミッションを、当会の先輩たちに託されました。大きな節目を迎える直前の七月二十七日、キム・サンソク師とソ・ジョンソン師がレダ基地を訪れました。キム師は日本人の夫人と共に、一九九七年から三年間、オリンポにおいて、小さな家で文師夫妻と寝食を共にしながら夫妻に仕えた方です。当時の稀有な体験談を、レダ基地在住者に熱く語ってくれました。翌日にはプロジェクトの各現場を巡り、闊達なナレーションを入れて撮影したほか、エスペランサとプエルト・カンを精力的に視察して行きました。韓鶴子総裁にリアルで詳細な報告がなされることでしょう。

**新たな地平を望める日陽園！**





青年たちに語る、キム師とソ師(食卓右側)。7月29日



キム師、ソ師、中田氏、佐野氏がボートでレダに到着。7月27日



固い地面を果敢に掘る江頭君。8月5日



大山氏がパクーの餌やり作業。8月5日



小川氏が釣ったパクー 51cm 4.5kg 8月4日



小鳥も寒くて丸くなった。8月5日



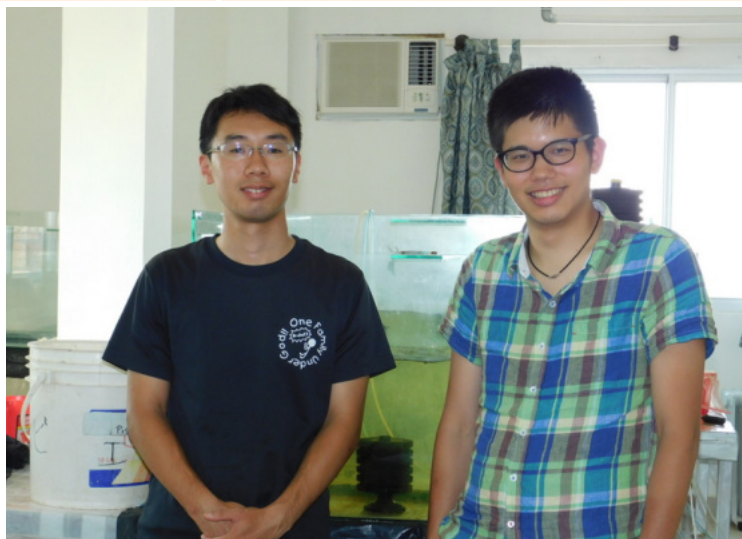
加藤君21歳の誕生祝い。8月13日



豚のため日曜日でも働く土弘君(右) 8月4日



光ファイバーケーブルを埋設するための準備工事。8月5日



養殖研究に励む友谷将明君(左)と加藤誠隆君。8月14日



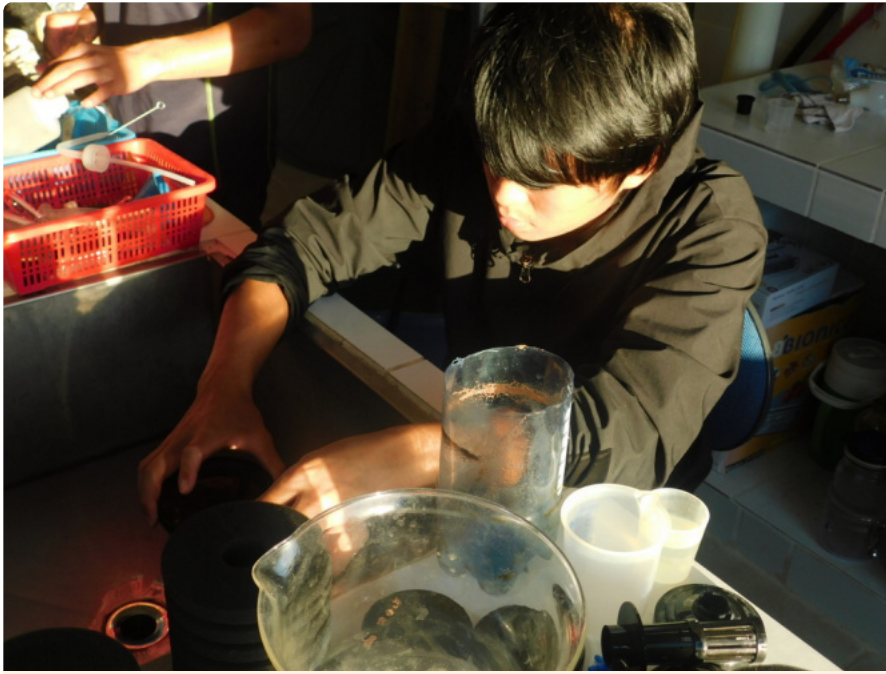
水田展聖（みずたてんせい）君（20）は、岡山県生まれで、現在鳥取大学農学部の子年生。去る四月中旬から四か月間、レダ基地で奉仕活動に勤しみました。八月七日、水田君が舟で帰国の途に就いた後「彼は専門外の研究にもかかわらず、たった一人で、よく頑張ってくれたなあ」という声が多く聞かれました。

Q レダで担当したことは？

A 初めにタロイモ栽培を手伝い、その後三人の鮮文大研究生からエビ養殖の研究を引き継ぎました。

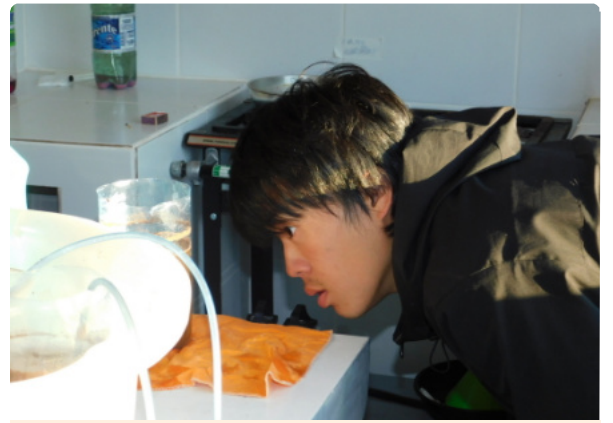
Q レダで最も苦心したことは？

A 鮮文大生が三人で担当していた研究を一人で引き継いだため、作業量が多くて大変でした。研究所には水槽がたくさんあります。特に午前六時から十時までは瞬時も休むことができませんでした。また、



エビ養殖の研究に没頭する水田君。 8月5日、パンタナール研究所。

日曜日にも自由時間はほとんどありませんでした。その後、少しずつ水槽の数を減らしたり、孵化回数を減らし、一人でも続けられる規模にしました。



ビーカー内のエビの幼生を観察する水田君。

突然停電になると、水槽に空気を送ることができなくなるので、すぐに発電機を始動させなければなりません。養豚を担当している土弘さんが、夜間の停電時には駆けつけてくださるので、とても助かっています。

Q レダで嬉しかったことは？

A 新しく青年二人が来てくれて、エビ養殖の研究を引き継いでくれたことです。引き継ぎ期間はわずか二週間足らずでしたが、熱心に学んで、研究内容と関連業務を継続してくれました。また、レダでは新しい人とのつながりができたことも喜びです。今まで全く知らなかった青年たちとも親しい関係が築けました。

Q 初めてレダに来たわけですが、第一印象は？

A レダには山が全くなくてびっくりしました。夜空の星の美しさも、心に焼き付いています。

Q 将来の抱負は？

A まずは大学に復学して、農業を学びます。卒業後は、食糧問題の解決に資する農業・水産業に携わりたいと思っています。メキシコ、中国、オーストラリアなどの乾燥地で行われて



エビの餌になるアルテミア2匹。

いるアクアポニクスにも関心を持っています。個人的な趣味としては、不思議なモアイ像のあるイースター島、特異な自然史を持つガラパゴス諸島、広大なモンゴルや放牧地などにも行ってみたいです。ただ、将来の大きな人生計画については、結婚相手の協力が必要なことなので、現時点ではまだ決められないこともあります。

Q 結婚相手となる人がいるのですか？

A 日本に帰ったら、見合いをするかも知れません。Q 日本の皆様に何でもひとこと、どうぞ。



日本への出発の朝、残る青年たちと。8月7日

A 自然からしか学べないことがらは、無数にありいます。「いろいろな所に行つて見なさい」という言葉があるように、様々な世界に出かけて行き、自分の目で見ることをお奨めしたいと思います。（八月五日、インタビューと写真…小田）



後継者の一人、友谷君（左）と水田君。8月5日



## 今後の展望に期待集まる

### 第二十回パンタナール一日研修会

★二十年の歩みが国を動かすまでに（柴沼）

★パラグアイ緑化の口火となって（高津）

★レダで得た、若き希望の輝き（米田・島田）

七月二十七日（土）、午前十時二十分から午後四時すぎまで、東京都渋谷区代々木の国立オリンピック記念青少年総合センター棟四〇一号室において「第二十回パンタナール一日研修会（ワンデイセミナー）」を開催しました。当法人と特定非営利活動法人「地球の緑を守る会」の共催です。以下、後藤誠一実行委員長の報告を簡略的にまとめたものです。東海地方に台風が接近する中、天候が心配されましたが、太陽が燦爛と降り注ぐ真夏の中でのセミナーとなりました。参加人数は八十名でした。



台風接近の中、太陽が燦爛と降り注ぐ。7月27日（撮影：石川）

研修会は、実行委員長の挨拶に始まり、柴沼邦彦理事による「レバレンド・ムーアの思想とレダ開発」。

養殖等のプロジェクト等を通じ、パラグアイの大統領が、レダにまで来られたこと等が写真と共に紹介され、参加者皆が感動していました。講義の後、緑に囲まれた中での写真撮影をし、その後青少年センター内の食堂で昼食をとりました。午後12時40分から、地球の緑を守る会の高津啓洋理事長による講義が、行われました。今日、森の消滅・地球の温暖化が問題となる中、地球の緑を守る会のパラグアイでの植樹活動への取り組みと共に、南米パンタナールに生息する様々な動物（タガメ、ワニ、ピラニア、ガラガラ蛇のしっぽ等）の標本が紹介されました。また来年は緑の会としてレダに行く決意を表明されました。続いて青年中期ボランティアで1年間レダに滞在した米田君から、レダでの各プロジェクトの内容が写真と共に紹介されました。最後に、南北米の中田欣宏理事長による「レダにおける今後の展望」と題し、20周年に向けた日本の改善、道路や交通網の整備等近未来の希望ある報告もあり、家庭の定着に向けた取り組みに参加者は大変希望を感じているようでした。

## パラグアイ レダ開拓20周年記念式典

令和元年10月14日（体育の日）午後4時～7時

開場：午後3：30

開会：午後4：00

会場：京王プラザホテル

一部：記念式典 4F大宴会場『扇』

二部：懇親会 4F中宴会場『花』

会費：式典と懇親会参加（10,000円）

式典のみ参加（3,000円）

懇親会のみ参加（10,000円）

（希望される方にご案をお送りいたします）

お申込み送信先：E-mail:office@asd-nsa.com

:FAX:044-829-2820

## 一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話：044-829-2821

FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール:office@asd-nsa.com

ホームページ:https://asd-nsa.com

Facebook:https://www.facebook

.com/ledaproject.jp/

## 会員種別

◆会員一口1000円／月

◆特別会員一口1万円／月

◆法人会員一口1万円／月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名：シャ）南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

## お便り募集



読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局：office@asd-nsa.comへお願いします。